

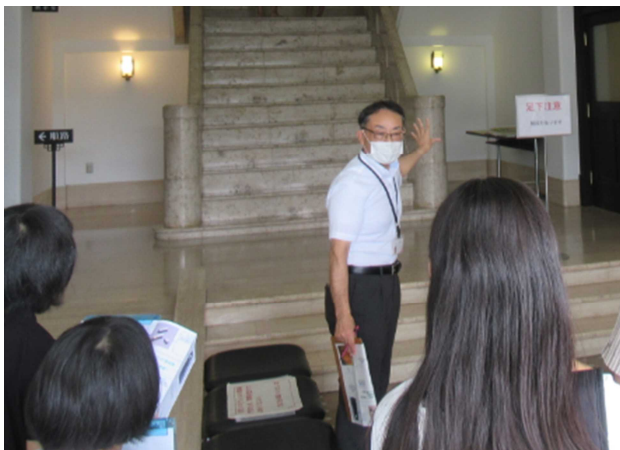
つやま 子ども観光ガイド育成塾

～つやま自然のふしぎ館・津山郷土博物館編～

2回目を開催しました！

8月21日津山の素晴らしい文化財や観光資源を、「見て、聞いて、調べて」観光ガイドにチャレンジするつやま観光ガイド育成塾の第2回目を開催しました。

「津山郷土博物館について学ぼう！～紐解かれる美作・津山の歴史絵巻～」と題して津山郷土博物館の新たな気づきに繋がる展示がいっぱいで、楽しく学びました。



これは、パレオパロドキシア。1500万年前にいた動物で、当時は津山周辺はあたたかい海で、クジラや貝の化石も見つかっています。



古墳時代の焼き物のかんおけ（陶棺（とうかん））。全国の出土のうち約半分が、美作地域で出土しています。



津山郷土博物館は、昭和8年に建てられた昔の市役所。正面玄関には大理石でつくられていて、サンゴや貝の化石がありました。



展示物の説明に聞き入りました。



江戸一目図屏風（えどひとめずびょうぶ）津山藩の絵師鋏形蕙斎（くわかたけいさい）が描いたもので、江戸にあったお寺、江戸城、橋や人物などが細かく描かれています。